



筑女



春2013年

第4号

1ページ:

*精華会アメリカ支部からのご挨拶、及び、2014年夏の第2回総会のご案内ドラフト

*ブックリポート

*会員寄稿のテーマ

“筑女時代の思い出”

2ページ、3ページ、4ページへと続く

2013年の主な事柄

*精華会アメリカ支部便り第4号は2月末締め切り。3月に仕上げ月内に、全会員へ精華便りと共に郵送する。精華会事務局へコピーを郵送し、精華会ウェブに載せる手配をする。

*2014年夏開催第二回精華会アメリカ支部総会の詳細を今年末までに決定する。

*2014年春発行アメリカ支部便り第5号のテーマを年末までに決定

*筑紫女学園精華会ウェブアドレス

<http://www.seikakai.com>

に入り、**アメリカ支部**をクリックすると、全てのニューズレターを見れる

*会に対しての案、ご意見は下記へ。

machikofa@gmail.com

360-652-6938

筑女の皆様、こんにちは！

又一年、2013年も走り出しました。シーズングリーティングカードや電話有難うございました。嬉しかったです。会員同士の交流も始まり、精華会アメリカ支部があつて良かったと感謝の声々を頂き、これからも続けていかなきゃと肝に命じています。去年、国本さんが、ニューヨークの姪御さん訪問の際に、浦崎さんと会いランチを楽しまれたそうです。私も2010年秋にイタリアはトスカナ州を旅して、会員で同級生の佐藤純子さんと40年振りの感激の再会を果たし、彼女のペンションに泊まって近くのフィレンツェを案内して頂き楽しい時を過ごしました。イタリアは素晴らしかった！皆さんも、交流出来る時に楽しんで楽しんで下さい！

ご主人の病状悪化で、ホノルル総会をキャンセル、頑張って看病されていたアイダホ州のネルソンさん。その甲斐あつて、ご主人は自分で車を運転して出かけられるようになったという吉報。年子さん、お疲れ様！良かったね！

今年は、**2014年開催の第二回精華会アメリカ支部総会**の準備を始めました。開催日は雨の心配がない夏、8月末はレイバーデイホリデイに入り混むかもと**8月24日(日曜日)**に変更。

会場はシアトル市内から北へ一時間の自宅で午前10時から12時まで。レンタル大型バンで皆一緒に、家から30分のところで、海の眺めが美しくそこで採れる生牡蠣やシーフードメニューのサンデイブランチパフェ。ベット&ブレイクファーストの宿泊も可。(www.chuckanutmanor.com)

食後、近くの海の美しいリゾートタウンのアナコータス(Anacortes)などご案内をしたいと考えています。ここには、リラックス出来るホテルもありお泊りになっても良いかも。(majesticinnandspa.com)

会費50ドル(ゲスト可で同会費)

皆様の足になるようレンタル大型バンでカープールしますのご利用下さい。シアトル市内観光にご興味がある方は、ぜひこの機会を利用して楽しんで下さい。だいたいのドラフトは出来ましたが、最終決定の年内までにご意見、アイデアなどをお知らせできれば幸いです！筑女という同じ地盤で、友情の絆を深める楽しいイベント、ぜひご参加下さい！

ブックリポート

間違った情報が氾濫し、又、医療費が高騰している今、医者任せでなく、自分の健康は自分で管理していかななくちゃと痛感して当った本があり、共感し実践しています、お薦めです。

病気にならない生き方 日本語版

The Enzyme Factor (英語版)

著者一新谷弘美(しんやひろみ)

<http://www.sunmark.co.jp>

米国アルバートアインシュタイン医科大学外科教授(ニューヨーク)福岡県出身

感動した本などありましたら、お知らせ下さい。皆さんとシェアしたいと思います。宜しく！

アメリカ支部便り第4号のテーマは、**筑女時代の思い出**。色々思い出して楽しい作業でした！

お忙しい中、お時間を作って寄稿して下さい有難うございました！

守田秀子(旧井上)

昭和46年卒 ニューヨーク州

嫌々入った学園でしたが、今思い出してみると、忘れられない思い出があまりにも多く驚いています。小さな思い出も、シリアスな思い出も、それぞれ交友のあった友の顔が浮かんで、鮮明に思い出すのが不思議。

私はベストフレンドを作るよりグッドフレンドの交流を楽しんでいた様に思います。学校の行き帰り、クラス中、休み時間それぞれ違う友との付き合いをしていた私ですが、皆それぞれの友情で思い出をくれた同級生先生方、叱られたり、気に留めて下さったり、多くて書けないぐらい。それに、バラエティーに富んだ友達。クラスメートが私のいたずらをかばってくれたり、皆様の御蔭で過ごした学園生活の思い出。

我母も私の友を退学から守ってくれたり、先生方から注意のあった子に、教師たるも付き合いませない様にとは何事！と、前向きに友達と向き合ってくれたり母も我学園生活にとって大切な思い出です。学生時代のそれぞれ友との忘れられない思い出はその同じ時を過ごした友との思い出。そんな事を思い出させて下さった事に感謝しています。

昨年、そんな友達が40年振りに、母を訪ねて来てくれて抱き合っ泣いたそうです。又、新たな思い出が出来ました。

匿名

昭和52年卒 ニューヨーク

高校時代の思い出は色々ありますが、思い返して思わずにんまりとしてしまうのは不真面目な思い出の方です。あの頃の自分は、厳格な規則で縛られた学校生活の中で、チャンスを見つけてはささやかな抵抗を図る事により、青春を楽しもうとしていたのかもしれませんが、それは、昼休み前にお弁当を食べてしまうハヤベンであったり、ちょっと悪ぶってスカートの裾を長くしたり、コートの下に派手な赤いチェックのマフラーをしていくといった、今思えば可愛い抵抗ですが、注意されても、違反品を没収されても、性懲りもなく続けていました。一番の自慢(?)は、授業中に前の席の友人にヘアカットをしてあげたことでしょうか。彼女は前日に有名な高級ヘアサロンで髪を切ってきたのですが、それがどうも似合ってなかったのです。本人も周囲も同意見だったため、不遜にも私が、“直してあげるよ”と休み時間にハサミを手にすることに。途中で次の授業が始まりましたが、先生が黒板に向かわれるたびに、彼女が素早く振り返り、チョキチョキ、チョキチョキと切り続けて、授業が終わる頃には新しいスタイルができあがりました。これがなかなかの好評で、彼女は登校時とは随分違う髪形に変身して下校したのです。一流サロンのプロによるカットをド素人の高校生が一日でズタズタにしてしまった訳ですが、今となっては忘れられない楽しい思い出です。

PS

2月末、私の属する合唱団海外遠征で、クロアチアの大統領の前で歌ってきました。日本から友人が二人聴きにきてくれて、一人は筑女、同級生っていいですね！

上野あたま (旧 吉田)

昭和19年卒 オレゴン州

私の筑紫時代は、丁度戦争中で学習も現在とは色々と異なっていたと思います。冬の寒い日に、体育の時間には大濠公園を一周させられた事。夏には学校のプールで往復泳がされたり。ある日、元オリンピック選手の古橋、ハンズメ両選手が筑紫のプールで泳いでいるのを誰かが見つけて、学校中の生徒が見に行った事を覚えています。先生で印象に残っているのは、英語の原金午先生と国語の水月哲夫先生です。原先生は私が英文科に進学するのをずっと後押し下さったし、水月先生は文語体の文法を解りやすく教えて下さいました。ご存知ですか、簡単な覚え方？“き、けり過去、むは未来にて、完了はつ、ぬ、り、たりの四つなりけり”これを覚えていれば大丈夫。長くなるので、今日はこれで失礼。お元気で。

加藤ひろ子 (旧 大石)

昭和43年卒 カルフォルニア

中学校、高校と思い出は沢山ありますが、何よりも素敵な友人とのめぐり合い、伸び伸びと友情を育てる事が出来た事だと思います。学校の校則などは厳しかったけれど、おらかな気風があり、明るくて前向きな人が多い楽しい学校生活でした。学校の通学の駅まで歩きながらおしゃべりは尽きず、笑い転げていました。学校が仏教系という事で薬師寺の高田好胤官長などの高名な方が学校まで来てくださり、じかにお話を聞けた事などが印象に残っています。実家が浄土真宗なので、家の法事の度に御住職のお誘いで一緒にお経をあげる事が出来先祖を大切に作る気持を持つ

Vigneault 正子 (旧 中牟田)

昭和44年卒 コネチカット州

一生懸命考えるのですが、余り浮かばないという事は、、、学生時代をふらふらと過ごしていたのでしょうか。つくづく反省一つだけ思い出すのは、何故か真面目でない私が、風紀委員をしていた事がありました。朝の登校時に校門前で、風紀係の先生(多分、井浦先生だと思います)とセーラー服のネクタイが短いとか、髪が肩より長いので結んで下さいとか。。。まあ、ちょよちょよと色んな事を言っていたような気がします。その頃、アメリカに留学していた姉が帰国し、又、筑女に戻りました。姉は毎日髪をカールしていました。それを知っている私は待ち伏せのように、校門前で“中牟田さん、貴方の髪は少しくリクリし過ぎですよ。”と注意これは真面目な姉の唯一の楽しみ、それを毎日ぶち壊していました。今思うと、残酷ですよ。昔の事です、お許し下さい。

事ができました。私の友人の娘さん方はほとんど筑女に入学され、社会に出てからも色々と活躍されています。私も福岡に住んでいたなら、きっと娘に筑女で学んで欲しいと願ったと思います。社会に出て海外に出て、筑女で学んだ慈愛や感謝などの数々の教えや、長く続いている友人との絆は私の生き方の支えになっています。誇りに思える国誇りに思える母校をもっているのは幸せな事だと思います。

かたまらない こだわらない
とらわれない心 ひろく
ひろく もっとひろく
これが般若心経 空の心なり

(高田好胤名言集より)

Faught 真知子 (旧 西田)

昭和43年卒 シアトル郊外

中学部、高等部、短大とずっと筑女で、様々な思い出があって到底書きつくせない。迷いに迷って、一番楽しく心に残っているのは、父の転勤で関西から福岡に移り筑紫女学園中学部に入学した頃だと思う。

今の時代は、自分達と異なった子を仲間外れにし、グループで陰湿に苛めるという心痛むニュースをよく耳にするが、筑女の級友達は大阪弁の変な新生徒を温かく迎えてくれ、オープンマインドで、自然に接してくれた御蔭で、慣れない環境で不安だった私も直ぐに馴染め、学校生活はとても楽しかった。いつも冗談を言い合っては、笑いこけていたように思う。どの級友が作ったのか忘れてしまったが、関西の吉本喜劇風なので私かも？今でもしっかりと覚えている究極にえげつなくお下品な俳句があるが“芋食えば、パンツ。。。。、。。。。。”

(ブランクのところは各々のご想像にお任せして)これは馬鹿受けして、皆お腹をよじらせて爆笑一、涙流して床に転げ回って笑いまくった！

その乗りは学校外にも及んで、お互いの家に遊びに行ったり、一緒にお茶や日本舞踊のお稽古に通ったり、お弁当持参でハイキングや自転車で郊外に出かけたりなどと楽しかった！

その頃の白黒のスナップ写真が沢山残っているが、皆んな元気一杯だった！無邪気で、大らかで、明るくて、面白くて、優しく、清らかで、素直で、お茶目で、何が何でも、可愛かったあー！

そして、どこまでも、どこまでも続く澄み切った青い空のように、可能性は無限に広がっていた、、、、、、。

Sullivan 玲子 (旧 安河内)

昭和45年卒 ホノルル

高校時代、憧れの先生がクラブ顧問のESSに入部。初めての先輩後輩の世界。英語は大の苦手、でも(多分)必死で。。。顧問先生に逢いたくて(笑い)。といっても、高校時代の思い出は、学園祭でのESS英語劇。先輩方のシェークスピア“マクベス夫人”。。。先輩方の英語力、演技に圧倒されたものです。そして私達のオルコット“Little Women”

裏方では得意な衣装デザイン。縫製係り、舞台ではマーチ家の4姉妹の母親役を演技。短大英文科、英会話スクール、留学生交流、渡米、英文タイプ、ワープロの世界。。。そして国際結婚。不思議ですね。。。意図せず、まるであの頃から、私の人生コースが流れ始めていたかのよう。。。この原稿を書いている間にも、思い出が蘇ります。ESSの先輩、同期の皆様お元気ですか。英語。。。今でも苦手です。(笑い)

Ganung あずさ (旧 森)

平成06年卒 シアトル

筑女時代の事で思い出すのは、裏千家茶道部のお茶会で頂いていた学校のすぐ近くにある五島さんの和菓子です。私は入学後、すぐに裏千家茶道部に入りました。入部を決めたのは、入部前のお茶会で頂いた五島さんの和菓子でした。その時の和菓子が何だったか忘れてしまいましたが、とても美味しく、茶道部では、練習の最後にお茶会があって、毎回和菓子が食べられると知り、友達と即入部を決めました。お茶会には、季節に合わせた和菓子、もしくは梅もなかでした。中でも、今でも心に残っているのは、梅雨の季節に頂いた紫陽花の和菓子。餡子のまわりに紫の寒天をまぶしてあって、本当に紫陽花のようで、食べるのがもったいないくらいでした。梅もなかも中が白餡で、もなかの皮はパ

Grande 百江 (旧 武藤)

昭和37年卒 オハイオ州

筑女時代の忘れられない思い出は沢山あります。若さがあふれる青春を最高に満喫した時代です。何といっても良き友に巡り会った事です。これは私の大財産です。そして、その友人達と校則を破るスリルを楽しみました。ほとんど、毎日のように学校帰りに大福うどんを食べたこと、私服で天神町を闊歩したこと、何度か南公園の動物園に制服を着たままで塀を乗り越え、無料入園したこと(これだけは誰にも見つかりませんでした)。時には、補導の先生に見つかり、翌日は早速呼び出されお説教を受けました。すべて若さがもたらした悪戯だと、筑女時代を思い浮かべ微笑んでいます。あの時の若さがもう一度ほしいです。

リットとして、私の一番好きなもなかです。又、お店でまだ売ってない新しい和菓子をお茶会で頂き、当時の裏千家の森本先生に和菓子の名前をつけるのをお願いしてあったのも覚えています。5年前ぐらいに福岡へ帰った際、高校時代の友達と赤坂近くのランチに行きせっかくなので、その帰りに新しくなった学校に寄り道し、校門前で写真を撮りました。その際、五島さんに梅もなかを買に行ったら、すっかりお店が新しくなっていました。もなかの味は以前と変わらず、美味しく安心しました。これを書いていると、和菓子が食べたくなりました。今度帰った際には、又是非お店に足を運びたいと思います。

Nelson とし子 (旧 柳)

昭和42年卒 アイダホ州

中学校の歴史の授業中、睡魔に襲われながらも辛うじて正座を保ちコックリを始めないよう勤めていた。先生は(失礼、お名前が思い出せない)何時も黒っぽい三つ揃えのスーツをきりりと召されて懐中時計の鎖をチョッキのポケットからチョロリと垂れさせ、いかにも明治生まれで大正育ちらしきダンディさと規律厳しい性格がお見受けできた。彼の授業はいつも口早に話しながら黒板に猛スピードで延々と書いていかれる。とてもついていけない。それをご存知でか、時々クルリと生徒の方に向き直っては生徒の集中を募らせる如く声を上げられる。その日も大きな声で鼻眼鏡越しにこちらを睨むようにして“歴史は暗記ではないぞ理解だぞ!”と叫ばれた。その言葉に、朦朧と眠りの世界に落ち込ませようとしていた睡魔が一挙に飛ばされ我に返った。しかし、この頃の私には歴史とは覚え難い人名や地名、複雑な年譜に年号を覚えてゆくの精一杯の暗記の科目でしかなかった。けれどその“歴史は理解だぞ!”の言葉とこの時の先生のお顔が今でも私の頭から離れないでいる。遅鈍な私は後々大人になってから、その先生のお言葉の意味が成る程と解る。史実をはっきり認識しながら現代に至っているのを知るのはとても興味深い。隣国諸国の人々も日本の史実を曲げずに究めていけば、隣国諸国が持つ根強い反日感情も現在起こっている日本との摩擦も衝突ももう少し緩和出来るような気がするのだが。

次も中学校の思い出で当時ギスギスに痩せていた私が何と水泳部に入部する事になった

ピッタリ合う水着もなく皆ブカブカ。筑女オリジナルの強豪選手や熊本八代の高校や鹿児島の高校、尚且つ遙々沖縄(返還前)の学校からスカウトされてこられた国体クラスの筋肉隆々の先輩選手達に交じって練習をやっていたのが非常に嬉しく誇らしく思えたものでした。傍から見ればアップアップしながら辛うじて連れて行ってた様なものではないでしょうか。冬も陸上で筋トレに励んだり、時々福岡市内の他校にも遠征練習に行ったり来られたり、合宿もあり、どれも楽しい部活でした。競泳も地区大会まで参加できた。しかし、元々学業の成績は思わしくなかった上に、かなり厳しい部活との両立は私には無理があったし、この頃から手足の関節炎も出てきて、約二年程で退部してしまいました。苦しい時もあったけど楽しい思い出が沢山だった水泳部短期間だったけど、水泳をやって良かったとおもう。

倫理道徳、又は宗教の授業に芥川龍之介の“蜘蛛の糸”の話や幻灯機から映し出される絵を観ながら聞かされた事があった。その絵の凄まじさが昔々母の実家がある田舎の銭湯で見た地獄絵と同じ様な絵ではとさせられたのを覚えている。この銭湯の湯船上の壁一面に描かれた地獄絵は長い間幼い私の悪夢の原因であった。それでもやっとなんか思い出した頃に又、**Deja Vu!** あー、又悪夢がぶりがえさなければいいのだからと思いつつ授業を受けた。幸いこの後は一度もぶりがえさなかった。あの蜘蛛の糸の例えを使った授業は要するに“生きとし生けるもの”の命を尊びなさいという教えなのでしょうが、あの絵は必要だったのかなと思わないでもないしかし今でも覚えているという事は効果があった事なのかな。一般にアメリカ人は蜘蛛をとて怖がる。うちの家族も蜘蛛を見たら直ぐに打ち潰す。私だけ

(ネルソン年子さんの 3 ページからの続き)

が捕まえては外に放してやるのだが、これはあの“蜘蛛の糸”の教えが効いているのだろうか？お釈迦様が、蓮の池を除き込まれているイメージも頭に浮かぶ。

他にも修学旅行で行った美しい宮島、厳島神社、奈良、京都の神社仏閣巡りなど、他にも思い出は有り過ぎて尽きない。筑紫女学園の楽しい中学、高校時代でした。

PS

名前を忘れた先生って、城後先生ですか？確か、歴史と倫理を教えて下さって、私にもやる気を起こさせて下さった先生としてよく覚えています。

野中康子

昭和22年卒 コロラド州

只今、教会の日本文化紹介のイベントの準備で大忙しの日々で全く余裕がなく、今回は残念ながら寄稿出来ませんでした。イベントでは、自作のちぎり絵、押し絵、小さい人形などを展示しています。又様々なお雛様の展示もあり、日本の食べ物もあり、私もお饅頭を作っていますが、盛り沢山なイベントです！

コミュニティに日本の伝統、文化紹介するは、日本という国を知ってもらう意義のある事です。今後とも、頑張ってください！



鐘ヶ江美智枝 (旧 須佐)

昭和21年卒 コロラド州

学校はどちらですか？と聞かれると、“筑女です。”と胸を張って答える私です。結婚して女の子が生まれたら、筑女に入学させようと思っていた私でしたが、どう間違ったのか日系二世の主人と結婚して、アメリカに住むことになりました。

福岡でも有名な筑女に入学出来て、私はとても嬉しい思いがしました。83歳の今でも、あの頃の誇らしさは忘れません。学校では、仲の良い友達も沢山出来て楽しい毎日でした。家が料理屋だったので、友達を連れて家でアイスクリームなどを買ってきてもらい楽しい時間も過ごしました。料理屋なので、沢山の部屋があり皆で鬼ごっこをして遊んだ楽しい記憶も残っております。

但し、この楽しい思い出も2年生の半ばで崩されました。第2

次大戦の為に学徒動員が始まり大部分の仲の良かった友達ともチリジリバラバラに別れる羽目になってしまいました春日原の造幣所に機関銃の部品作りに動員されたのです。夜勤も交代で朝まで仕事をしましたこともあり。電車でも毎日通勤するのも大変でした勉強の出来ない辛い毎日でした。6月18日に福岡の空襲があり、糸島に疎開しなければなりません。工場も吉井と田主丸に分散しましたが、私は体調が悪くなり仕事には戻れず、8月15日の終戦を迎えました。筑女で一番辛かったのはこの時期でした皆さんには想像も出来ない苦しいひどい時期でした。この様な経験は、皆さんには絶対にして貰いたくない気持ち一杯です。学校に戻り、友達とも逢えて以前の楽しい学校生活に戻る事が出来ました。これもつかの間に終わり、卒業となりました。(下記続く)

国本嘉代子 (旧 藤田)

昭和21年卒 シカゴ近郊

2月4日、兄のお見舞いと福岡へ向かいましたが、辿り着くまでに帰らぬ人となりそのままお葬式へ。ショックのままに、シカゴの家へ戻ると、華道の長い間の友人が逝き、親しくしていた友人も逝かれ(合掌)頭の中が真っ白になり、肺炎になりましたもの、到底書く気力が出てきません、今回は失礼します。

いつもエネルギーシユな嘉代子様、元気出して下さい！

Sulis 佐藤 純子 (旧 佐藤)

昭和43年卒
トスカナ州、イタリア

2月14日、お昼の12時頃に母が永眠しました。12月に帰国して10日ほど母の姿を見ることが出来て良かったです。

お葬式には間に合わず、四十九日の法要に参列します。そんなわけで、心の整理がついておらず、今回は寄稿なりません。ご冥福をお祈りします。合掌

お知らせ

以前、ベイエリア、北カルフォルニアに住んでいた時、偶然にも、私の車のメンテナンスをして頂いていたのが、サンマテオ市の篠崎オットウモティブです。そのオーナー、篠崎シズエさんが、1991年にサンマテオの詩(アメリカ新一世の生活手記)彼女の父の密航渡米から始まり彼女の人生を記したハードカバーの277ページの大作を自費出版され、その本が篠崎さんの店に置いてあり、私も買って読んで、シズエさんが筑紫女学園卒業生と知りました。昭和30年卒、(旧 安部)

ワシントン州にに移ってき、平成という在米日本人のための同人文芸誌第59号から寄稿を始めた際、同人に篠崎シズエさんがいる事がわかり、すでに精華会アメリカ支部を立ち上げていたので、ぜひ入会して頂こうと連絡しましたのが去年ですが、ご病気で安静にしておられるという事でした。今年早々にすい臓癌で亡くなられたと篠崎さんのお友達であり、精華会アメリカ支部会員である流田恵子さんよりお知らせ頂きました。ありがとうございました。会から、篠崎さんのご家族へカードを送っておきました。ご家族よりご丁寧カードを頂いております

東日本大震災311から2年、NHK特別番組で当時の惨事再現に、改めて天災の恐ろしさと人の命のはかなさを思いました犠牲者の方々へ謹んで哀悼の意を表します。

最後の一番楽しい思い出は卒業時に、“狸御殿”のお芝居を友達と一緒に全校生徒に披露できたことでした。そして卒業後、又、友達と一緒に奉公館で、“狸御殿”を知人に披露する事が出来ました。筑女では、楽しい事もあり、悲しい辛い事もありましたが、今でも筑女出身であることに誇りを持っております。

PS

近年、足と目の手術をしましたが、どちらも経過が良くなく、目が良くないと書くというプロセスは耐え難いもので今回は失礼させて頂こうと思いましたが、書けましたので読んでください。

(体調がお悪いのに、無理をさせて申し訳ございません。貴重な体験談、ありがとうございます。体調が良くなれますよう、心から祈っております。お大事に！)